

旅行は楽しい

千両小・3 石川 えいじ

ぼくは、七月三十一日から八月三日まで、三はく四日で屋く島へ旅行に行きました。屋く島は、かご島県の南にうかんでいる島で、島の一部が、世界自ぜんいさんに登ろくされています。屋くスギやじよう文スギが有名です。旅行に行く前どころなのかネットで調べ、「もののけひめ」のモデルだったということで、とてもきょう味がわきました。また、海や川でも遊べるから旅行の日が楽しかったです。

ひ行きを乗りついで島が見えてきた時、緑がいっぱい海はきれいな青で、「これが屋く島か」とむねがどきどきしました。思ったより広く、山が高くて岩も大きく、全てが近くに感じてびっくりしました。

屋く島では、つりや海、川遊びをしたり、たきを見に行ったりしました。また屋く島一周ドライブをしました。その中で、ヤクシマザルとヤクシカをすぐ近くに見ました。ぼくにとっては、どれも初めてのことでわくわくがとまりませんでした。

二日目、屋く島のおじさんにつりにつれて行ってもらいました。つりには何度か行ったことがあるけれど、はじめて一本づりをしました。さおを引きあげるタイミングがわからなくて、とてもむずかしくて苦senseしました。弟の方が先につれたので、「何でつれないんだ」といらいらしてしまい、よ計につれなくなりました。ぼくはす

ねてしまいました。つりが少しきらいになりました。「海はすんでいて魚も見えるのに、何で・・・」という気持ちですぐくもやもやしました。お父さんがさおを投げるタイミングでえさをまいてくれました。えさをまくと魚がたくさん集まってきました。それを何回かしているうちに、ついに一ぴきつることができました。

「やったあ」

という気持ちですぐうれしかったです。いつものつりとはちがつて、つれた時のうれしさは十倍も百倍もちがいました。その後、もう一ぴきつることができました。つった魚は「びんぐー」という魚でした。つった魚はキャッチアンドリリースしました。やつぱりつりが大すきです。

その後、川へ行きはじめて川で泳ぎました。川の水もとう明で魚も見え、すぐきれいでした。川では泳いで小さい魚を手でつかまえようと思いました。魚の動きが速くて、一ぴきもつかめませんでした。

三日目は、屋く島一しゅうドライブに行きました。一番いんしゅうにのこったのは、大川のたきです。たきの前には大きな岩がたくさんあって、近くへ行ってたきを見たり、水しぶきをあびたりすることができます。すぐく上の方から水が落ちてくるので、しぶきがすぐくとんでいました。このマイナスイオンがつめたくて、すぐく気持ちよかったです。

その後、西部林道という屋く島にしかない野生のヤクシマザルやヤクシカが見られるところに行き、ぼくはヤクシマザルの親子を見ました。お母さんザルにしがみついた赤ちゃんがとてもかわいかったです。まれにシカの上にサルが乗り、おんぶされているすがた

が見られるそうです。さんねながら、ぼくは見られませんでした。

ぼくの住んでいる千両も自ぜんゆたかでないけれど、屋く島はもつと自ぜんゆたかでした。海も山も川もすんでいて空気がちがいました。はじめての体けんばかりで、まい日がぼうけんのようでした。帰ることがいやに思うほど楽しくて、いつか島ぐらしをしたいと思いました。